ソフトバンクがベクターの保有割合を半分以下に　2022年12月の大量保有報告書

M＆A Online編集部が大量保有データベースで2022年12月の大量保有報告書などの提出状況を調べたところ、ジャフコグループ株について、旧村上ファンド系のシティインデックスイレブンスが「当該株券等に関する担保契約等重要な契約の変更」届けを3度提出したほか、三井住友トラスト・アセットマネジメントが新規に5.01％を取得し、野村證券が1.06％を売却し保有割合を6.02％に引き下げたことが分かった。

ジャフコは一旦中止した自社株のTOB（株式公開買い付け）を12月22日から実施（買付期限は2023年1月25日）しており、シティが応募することを決めている。

ジャフコは12月5日に、保有する野村総合研究所株の売却益が637億円に達する見込みで、このうちの一部を自己株取得に充てるとしていた。

アンジェスを3度売却

2022年9月にDNAワクチンの開発を中止すると発表したアンジェスについては、米国の金融サービス会社のCANTOR FITZGERALD ＆ CO.が3度売却（5.78％）し、保有割合を7.04％に引き下げた

アンジェスはこれまでのDNAワクチンに代って、スタンフォード大学が保有する技術を活用した経鼻投与の改良型DNAワクチンを新たに開発することを表明している。

米投資ファンドのカーライル・グループが、TOBを実施した経済ニュースメディア「NewsPicks」などを運営するユーザベースについては、ユーザベース共同創業者の梅田優祐氏が保有全株式（保有割合13.09％）を手放したほか、同じく共同創業者の新野良介氏も保有全株式（同16.29％）を手放した。一方、カーライル・グループのTHE SHAPERは94.62％を新たに保有した。

2015年に経営破綻し12月14日に東京証券取引所に再上場したスカイマークについては、投資会社のインテグラル・パートナーズ（保有割合27.02％）を筆頭に、日本政策投資銀行（同13.98％）、ANAホールディングス（同12.93％）、キャピタル・リサーチ・アンド・マネージメント・カンパニー（同7.46％）が新規保有した。

ソフトウエアのダウンロードサイトを運営するベクターについては、ソフトバンクが17.13％を手放し、保有割合を半分以下の16.27％引き下げた。

2022年12月の大量保有報告書などの提出件数は1034件で、このうち保有割合を増やしたのが249件、新規保有が163件、保有割合を減らしたのが519件、契約の変更などが103件だった。

文：M＆A Online編集部